

# 東南アジア・南米行政官がさいたま新都心で区画整理の事例を学ぶ 「都市開発のための土地区画整理手法」研修

## 官民が連帯したさいたま新都心の整備 多彩な都市機能を実現したまちづくり

・都市開発手法の一つである区画整理(日本は区画整理の先進国)を学ぶため、東南アジア・南米の行政官8名が、約6週間にわたり、JICA 課題別研修「都市開発のための土地区画整理手法」に参加しています。

・現在、途上国は都市部への人口集中、都市化拡大の渦中にあり、計画的な都市整備を図ることは重要な課題となっています。区画整理を含め複数の事業者が連携しつつ事業を展開した「さいたま新都心」の多機能都市づくりから、各国の参加者が自国に適した都市計画手法のヒントを得ることを期待しています。

・東京の一極集中の是正を目的とした、首都圏基本計画に基づく業務核都市の指定(1986)を背景に、業務・商業機能および高次の首都機能を集積した「さいたま新都心」地区のまちづくりが計画されました。

▼日時:2017年6月4日(月) 10:00~12:00

▼場所① ラフレさいたまにて事業説明(10:00-11:20)

※午後は越谷レイクタウン視察を予定、①には左記視察先の事業説明も含まれます

② さいたま新都心駅周辺視察 (11:20-12:00)

<研修員国籍> \* 国名アルファベット順

アフガニスタン、ブータン、ブラジル、インドネシア、モンゴル、ネパール、ベトナム : 計8名

※取材をご希望の場合は、下記問い合わせ先にご連絡ください。

【本件に関する問い合わせ先】

東京国際センター 経済基盤開発・環境課 栗崎 (9:30-17:45)

TEL 03-3485-7659 e-mail : Kurisaki.Keiko2@jica.go.jp